

# 図1

## 発生状況

- 農場

肉用鶏農場 品種:レッドブロ、約12,000羽飼養

- 死亡羽数 (約2700羽飼養鶏舎)

病性鑑定時  
32日齢

日付	1月2日以前 (平均/日)	1月					
		2日	3日	4日	5日	6日	7日
死亡羽数	1.3	22	25	20	28	26	16

- 症状

沈うつ、まぶた閉じる、脚弱



図2

## ワクチネーション（当該群）

- 鶏コクシジウム感染症：1day
- ニューカッスル病：15day
- IBD（BURSA-M生ワクチン「NP」）：15day

以前、IBD（ノビリスガンボロD78）：21day

畜主が早期の方が効果があると考え、  
当該群より、IBDワクチン接種を、15日齢に早めていた

# 図3

## 方法

### I. 病性鑑定

- 材料

  - 生鶏 (No.1~5、No.3は輸送中へい死)

- 方法

- 細菌学的検査 : 定法にて実施

- 寄生虫学的検査 : コクシジウムOPG (盲腸内容)

- ウイルス学的検査

  - 遺伝子検査 : RT-PCR・RFLP (IBDV)<sup>(\*1)</sup>、  
遺伝子解析<sup>(\*1)</sup>・分子系統樹作成  
(IBDV:VP2超可変領域)

  - 分離 : 発育鶏卵接種

- 病理学的検査

  - HE染色

  - 免疫染色<sup>(\*2)</sup> : F囊、マウス抗IBDウイルス抗体使用

(\*1) KMバイオロジクスで実施

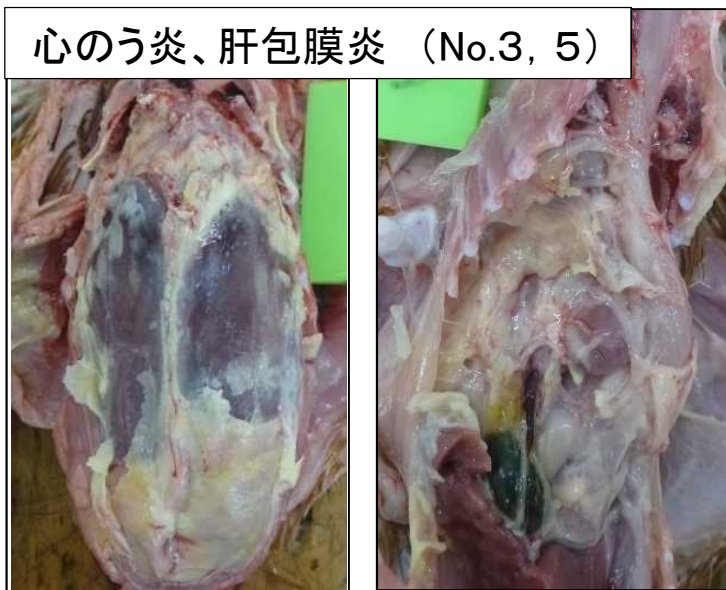
(\*2) 動衛研で実施

# 図4

## 結果

### I. 剖検所見・細菌・寄生虫検査

		1	2	3	4	5
剖検所見	心のう炎	-	-	+	-	+
	肝包膜炎	-	-	-	-	+
	腹膜炎	-	-	-	+	-
細菌検査	大腸菌(O78)分離	+	+	+	+	+
寄生虫検査	コクシジウムオーシスト(OPG)	-	$1.0 \times 10^2$	$3.0 \times 10^2$	$1.2 \times 10^3$	$5.0 \times 10^2$



鶏大腸菌症の症状を確認

# 図5

## 結果

### I. ウイルス学的検査

ウイルス	使用乳剤	検査	1	2	3	4	5	
IBD	F囊	RT-PCR	+	+	+	+	+	
		RFLP	農場使用のワクチン株とは異なるパターン (*)				NT	NT
		分離	-	-	-	-	-	
その他	気管・肺 腎臓	分離	-	-	-	-	-	

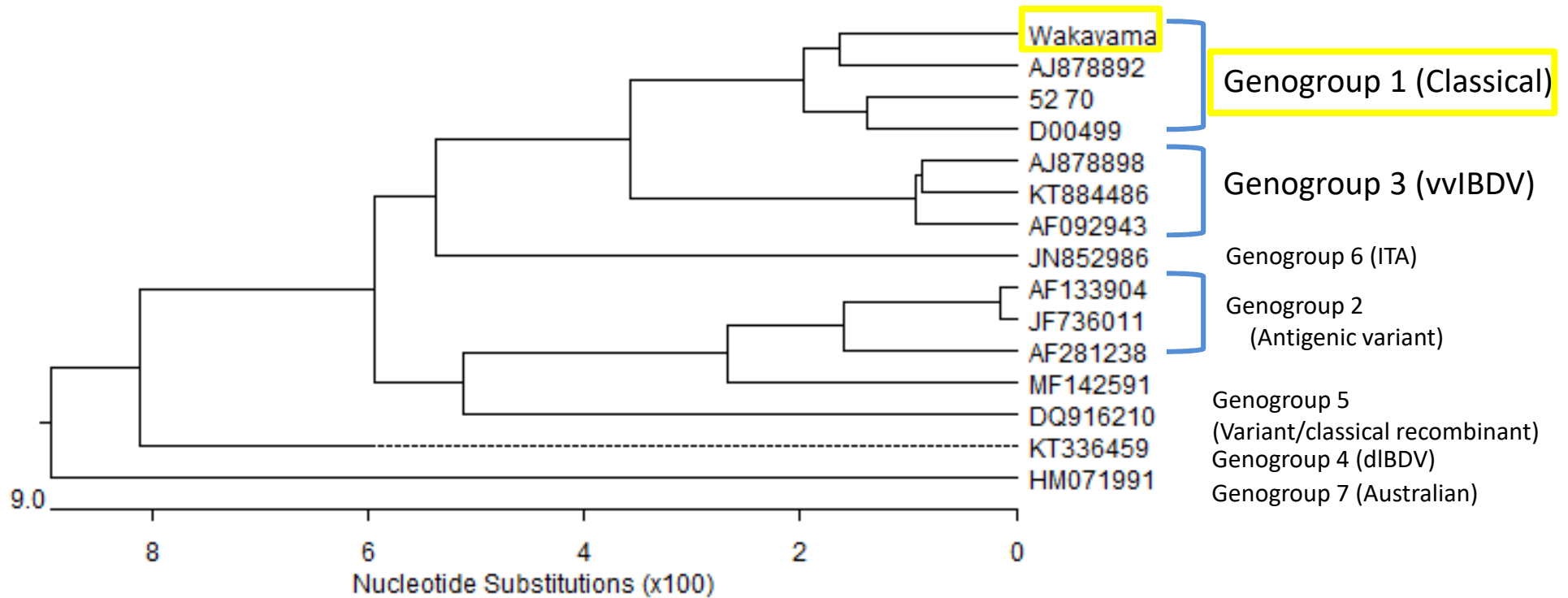
(\*) KMバイオロジクスで実施

- IBDV遺伝子が検出
- RFLPより、野外株感染の可能性あり

# 図6

## 結果

### I. ウイルス学的検査



Lindaら(2017)の報告を参考に作成

Genogroup1 (Classical: 従来型)に分類

# 図7

## 結果

### I . 病理組織検査

NT : not tested

		1	2	3	4	5
病理組織検査	化膿性心外膜炎	-	-	+	-	+
	化膿性肝包膜炎	-	-	+	-	+
	脾臓の濾胞壊死	+	+	+	+	+
	肉芽腫形成 (心外膜・肝包膜)	-	-	+	-	+
	F囊のリンパ濾胞の リンパ球脱落・壊死	+	+	+	+	+
	免疫組織学検査 (F囊・IBD)	NT	NT	+	+	+

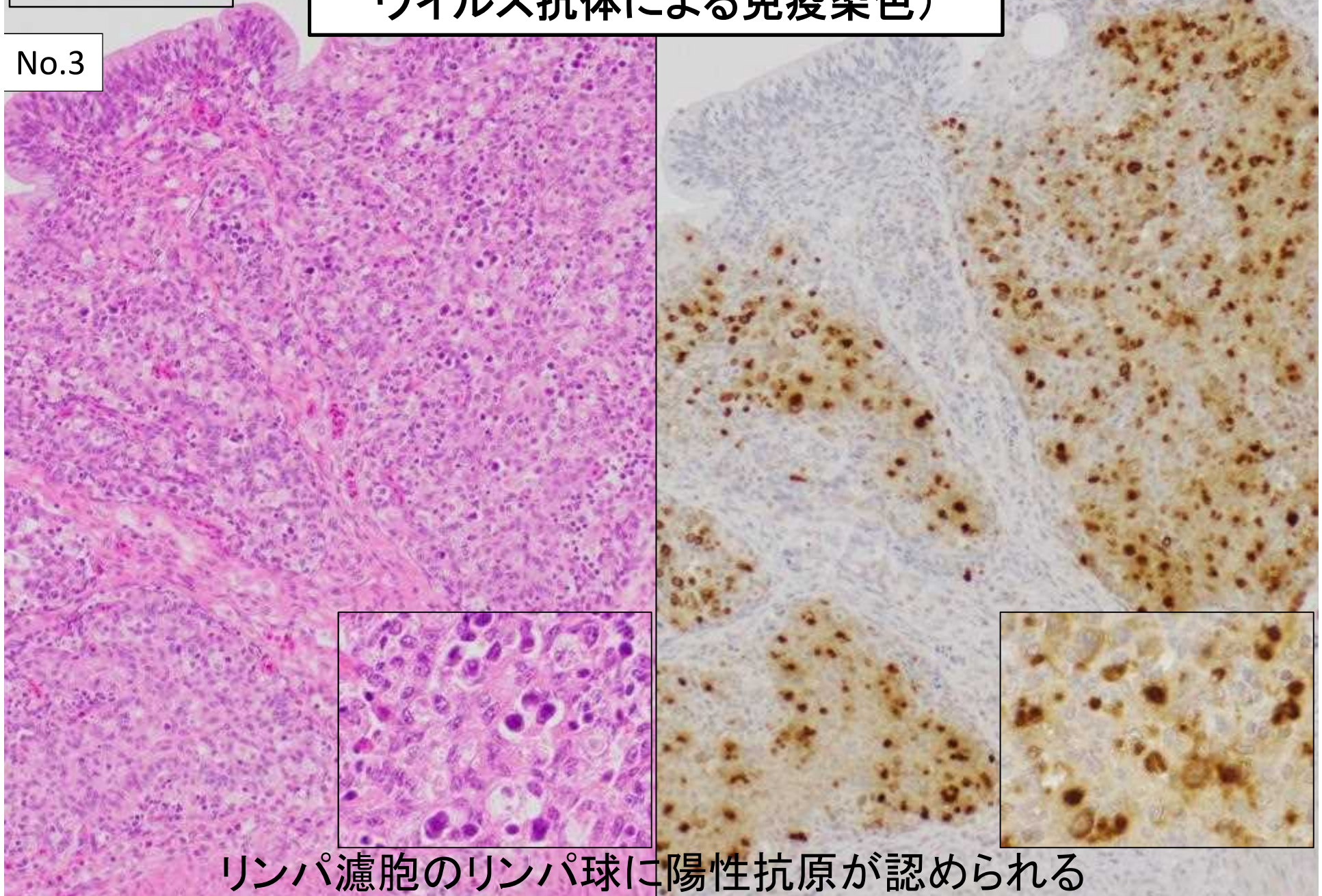
- 通常の大腸菌症より強い症状
- IBDウイルス抗原検出



図8

ファブリキウス嚢(マウス抗IBD  
ウイルス抗体による免疫染色)

No.3



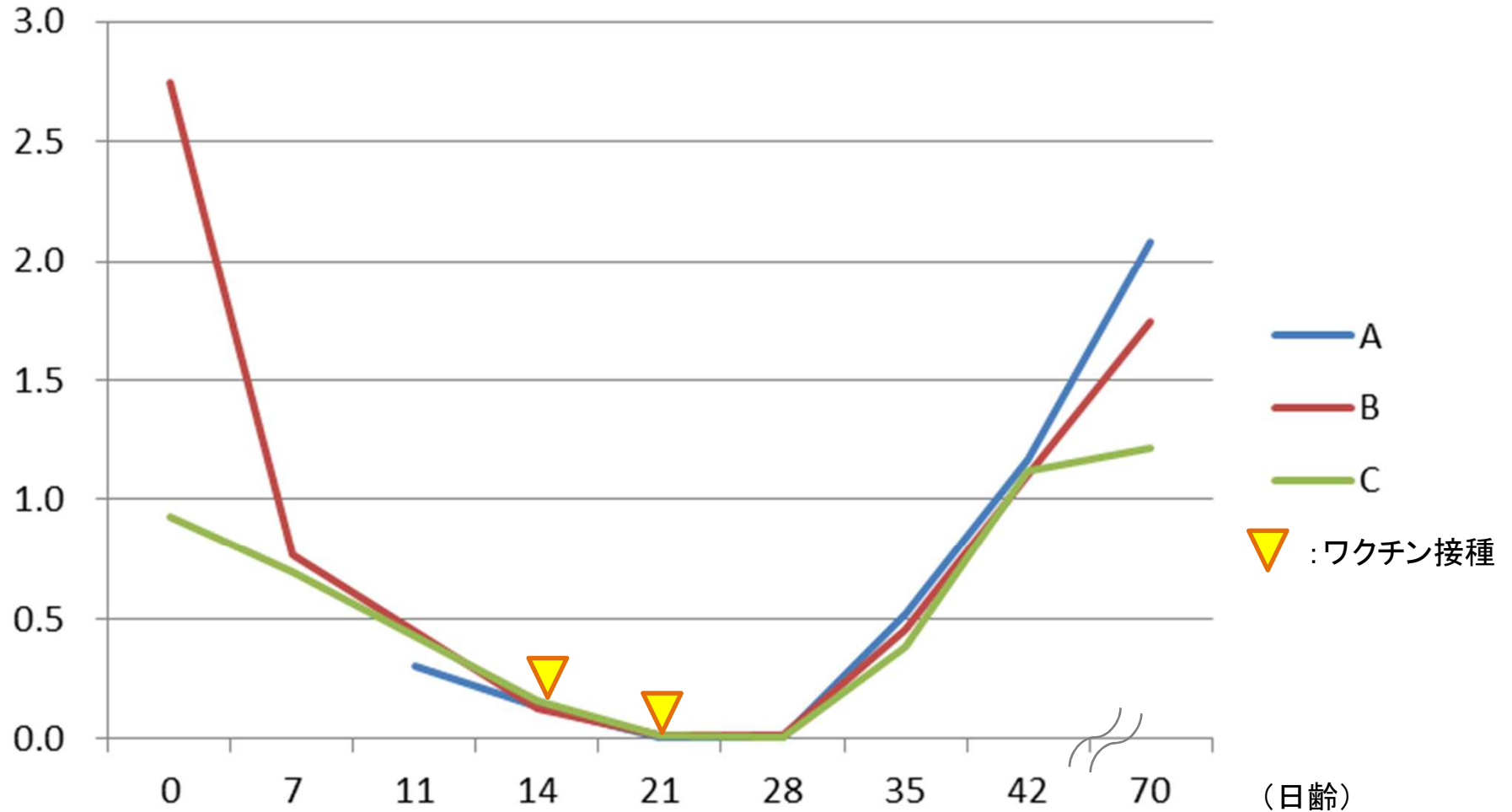
リンパ濾胞のリンパ球に陽性抗原が認められる



# 図9

# 結果

## (平均S/P値) II. 抗体保有状況調査



- 35日齢で、全ての群で、平均S/P値の上昇が認められた
- 70日齢でも、全ての群で、1.2以上を確認

# 図10

## 結果

### Ⅱ. 抗体保有状況調査

群	日齢	S/P値	平均S/P値	群	日齢	S/P値	平均S/P値	群	日齢	S/P値	平均S/P値
A	11日齢	0.416	0.306	B	7日齢	0.335	0.769	C	7日齢	1.242	0.698
		0.087				1.213				1.264	
		0.286				1.274				0.429	
		0.549				0.510				0.330	
		0.190				0.512				0.225	
	14日齢	0.139	0.134		14日齢	0.149	0.123		14日齢	0.033	0.159
		0.060				0.080				0.414	
		0.151				0.033				0.038	
		0.075				0.306				0.203	
		0.247				0.048				0.109	
	21日齢	0.000	0.005		21日齢	0.011	0.017		21日齢	0.000	0.012
		0.000				0.004				0.017	
		0.000				0.033				0.022	
		0.000				0.000				0.022	
		0.023				0.038				0.000	

14日齢で、5羽中2～3羽は、移行抗体がほぼ消失して、  
 野外株の感染の危険性のある個体が存在。